※令和４年度以降入学生用

学校番号	2004

令和５年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「情報Ⅰ」（日本文教出版）						
副教材等	「情報Ⅰサブノート」（日本文教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報科の求める生徒像

- **ルールを守る**（情報モラル・ログイン・ファイルを持参する）
- **授業への積極的参加**（休まない・話を聞く・積極的に取り組む）
- **考える力**（知識，技能をどう活かすか・深く学ぶ・聞くだけ，写すだけではない）

教科情報では、観点別評価により知識だけにとどまらない総合的な力を育みます。
毎時間の授業を大切にして、情報社会を生き抜く力を身につけて下さい。

- 昼休み・放課後の決められた時間 LAN 教室を開放します。自由に学んで下さい。
- 情報処理技術者試験の合格を１単位の増加単位として認定します。

ICT（Information and Communication Technology）を
「情報社会を支える情報や情報技術およびコミュニケーション」として扱います。

２　学習の到達目標

(1) 効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
(2) 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
(3) 情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解し，技能を身につけているとともに，情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら，問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し，自ら評価し改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	情報社会の問題解決	・情報やメディアの特性 ・問題解決の方法 ・情報モラルとセキュリティ	a:情報メディアの特性をふまえ、問題を発見・解決する方法を身につけ、情報技術が人や社会に果たす役割と影響、情報モラルなどについて理解する b:目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考え、情報モラルなどについて背景を科学的に捉え考察し、情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察する c:情報社会における問題の発見・解決に情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとする態度、情報モラルなどに配慮して情報社会に主体的に参画しようとする態度	単元テスト	単元まとめレポート	授業ふりかえり
1学期 2学期	コミュニケーションと情報デザイン	・メディアとコミュニケーション ・情報のデジタル化 ・情報デザイン	a:メディアの特性やコミュニケーション手段の特徴について科学的に理解し、効果的にコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を身につける b:メディアとコミュニケーション手段の関係を科学的に捉え、目的や状況に応じて適切に選択し、コミュニケーションの目的を明確にし、適切かつ効果的な情報デザインを考え、効果的なコミュニケーションのための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し、評価し改善する c:情報と情報技術を活用して効果的なコミュニケーションを行おうとする態度、情報社会に主体的に参画する態度	単元テスト	単元まとめレポート	授業ふりかえり

※令和４年度以降入学生用

3学期	コンピュータとプログラミング	・コンピュータのしくみ ・アルゴリズムとプログラミング ・モデル化とシミュレーション	a:コンピュータの仕組みとコンピュータでの情報の内部表現、計算に関する限界などを理解し、アルゴリズムを表現しプログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークの機能を使う方法や技能を身につける b:コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察し、目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングの過程を評価し改善し、目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行い、結果を踏まえて問題の適切な解決方法を考える c:問題解決にコンピュータを積極的に活用しようとする態度、結果を振り返って改善しようとする態度、生活の中で使われているプログラムを見いだして改善しようとすることなどを通じて情報社会に主体的に参画しようとする態度	単元テスト	単元まとめレポート	授業ふりかえり
	情報通信ネットワークとデータの活用	・情報通信ネットワークのしくみ ・情報システムとデータベース ・データ活用と問題解決	a:情報通信ネットワークや情報システムの仕組みを理解するとともに、データを蓄積、管理、提供する方法、データを収集、整理分析する方法、情報セキュリティを確保する方法を身につける b:目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択し、情報セキュリティを確保し情報システムが提供するサービスの効果的に活用について考え、データ活用を評価し改善する c:情報技術を適切かつ効果的に活用しようとする態度、データを多面的に精査しようとする態度、情報セキュリティなどに配慮して情報社会に主体的に参画しようとする態度	単元テスト プレゼン評価	単元まとめレポート プレゼン評価	授業ふりかえり プレゼン評価

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度